

# 名都借の木



2025年10月7日発行  
発行者:流山市立木の図書館  
(指定管理者:株式会社すばる)  
住所:流山市名都借313-1  
Tel: 04-7145-8000



2025年度読書週間 10/27-11/9

「こころとあたまの、

深呼吸。」

今年の読書週間の標語は

「こころとあたまの、深呼吸。」

です。作者の磯辺菜々さんによれば、ため息をついたり、何かに気が付いて息をのんだりして、

「こころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気がします。」

とのことです。またポスターを描いた天野美月さんによれば、

「読書は心の”息継ぎ”なんだ」

とのことです。

息をすること



呼吸法にかかる本いろいろ

教科書に載った詩「最初の質問」の作者、長田弘の詩集「深呼吸の必要」は“言葉を深呼吸するための詩集”とのことです。詩集だけでなくエッセーもおすすめします。

森まゆみのエッセー「本と歩く旅」では”呼吸をするように本を読んできた”著者が、本と旅をして、その土地の空気とともに本を呼吸し、思いをめぐらせてています。

また、好本惠著「声の文化を楽しむ」では、読書と呼吸が一体となった朗読から始まり、感動を分かち合うために誰かに伝えることや、作品への親しみや理解の深まり、作品に縁のある土地への旅など、「遠くへ泳いでいく」さまが描かれています。

みなさんも本を「深呼吸」して、いろいろなやりかたで遠くへ泳いでみませんか。



天野美月さんによる  
読書週間ポスター

息をすること



儒学者の貝原益軒が江戸時代中期に著した「養生訓」は、心と体の健康を説いていて、庶民向けの健康心得として長く愛読されてきました。

総論ではいろいろな場面の健康について書いた後、それらがどういう考えの上に成り立っているかが書かれ、終盤では呼吸の大切さが書かれています。

現代では、さまざまな呼吸法が健康のために提案されています。木の図書館では主に 498.3 健康法に分類されていますが、様々な視点から書かれた本が数多くあるため、検索機やカウンターで調べるのがおすすめです。

心の”息継ぎ”



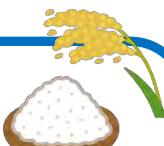
呼吸をするように本を読み、遠くへ泳いでいく手がかりとなる本



# 実りの秋



原田 マハ・みづき 水脈／著  
『ラブコメ』  
(KADOKAWA)



日本人ならみんな大好き、お米！  
震災を経てお米作りに初挑戦した、原田マハさん・  
みづき水脈さんの記録。  
具体的なお米作りの苦労と、自然の中に身を置く  
楽しさが伝わってくるエッセイです。  
後半の、みづきさんの漫画も楽しい一冊です。



この本もおすすめです！



石川 拓治／著  
『奇跡のリンゴ』  
(幻冬舎)



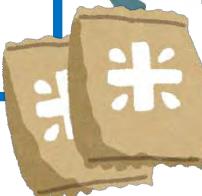
土橋 章宏／著  
『いも殿さま』  
(KADOKAWA)



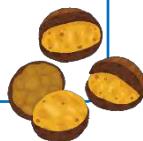
他にこんな本もあります！



不思議な生命力とエネルギーを持つ  
樹木、オリーブ。植えて・育てて・食べて・  
鑑賞して楽しい、オリーブのある生活を  
様々な角度から提案しています。これから育ててみたい人にもおすすめです。  
小野塚 千穂／監修  
『育てて楽しむ はじめてのオリーブ』  
(家の光協会)



野ばらの村に住むねずみ、プリム  
ローズの小さな冒険の物語。  
絵がとてもかわいく隅々まで  
見入ってしまいます。あなたも素敵な  
森に迷い込んでみませんか？  
ジル・パークレム／作・絵  
『野ばらの村の秋の実り』  
(出版ワークス)



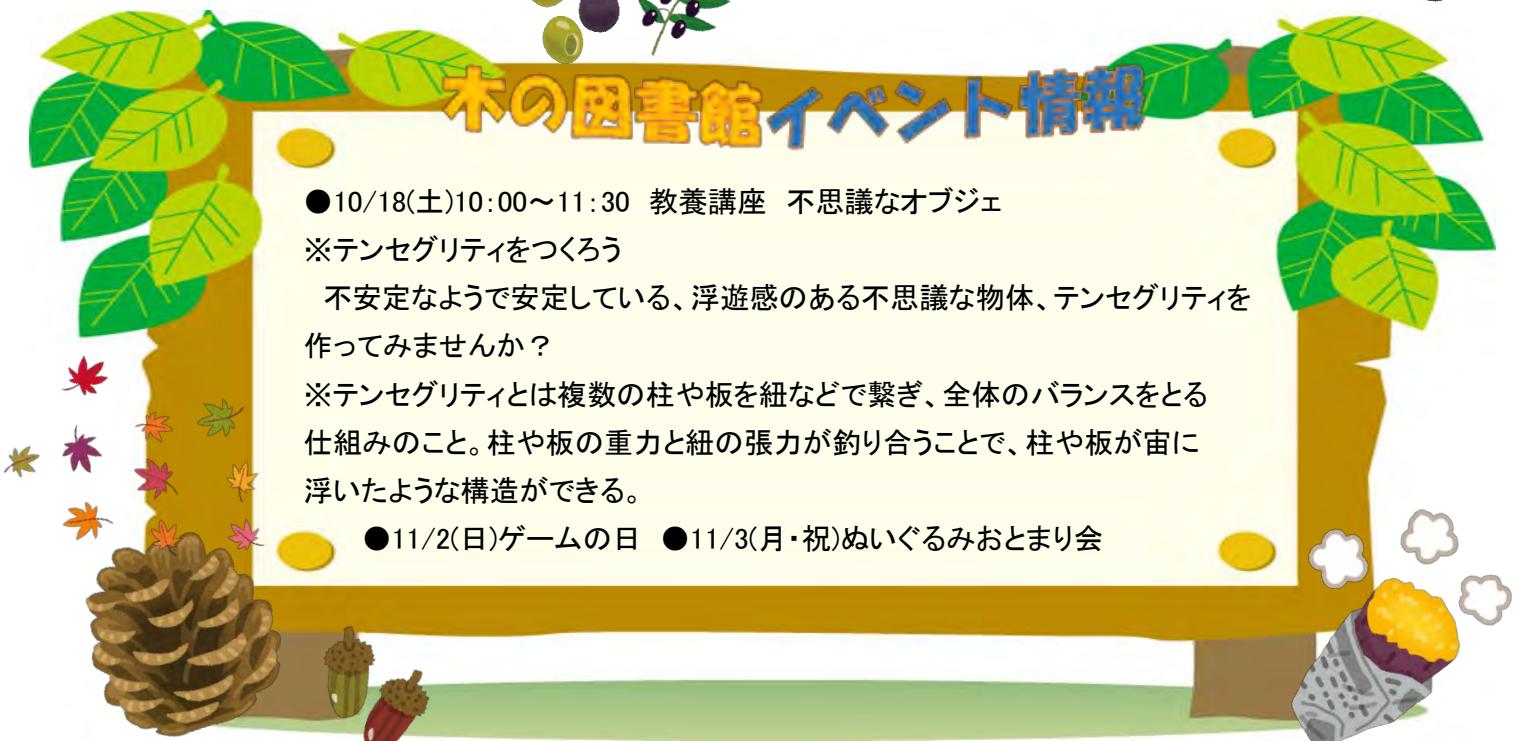
## 木の図書館イベント情報

●10/18(土)10:00～11:30 教養講座 不思議なオブジェ  
※テンセグリティをつくろう

不安定なようで安定している、浮遊感のある不思議な物体、テンセグリティを作ってみませんか？

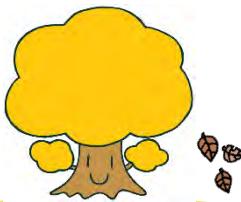
※テンセグリティとは複数の柱や板を紐などで繋ぎ、全体のバランスをとる仕組みのこと。柱や板の重力と紐の張力が釣り合うことで、柱や板が宙に浮いたような構造ができる。

●11/2(日)ゲームの日 ●11/3(月・祝)ぬいぐるみおとまり会





# 子どもの木



## 一歩ふみだそう

今年木の図書館にやってきた本の中からテーマに沿った4冊をご紹介します。



### 『はじめてのかり』

オノン・ウルグンゲ／さく  
唐亞明／さく  
ムンフジン・チュールテミン／え  
福音館書店

モンゴルにすんでいるバトル。どうさんとおじさんといっしょにしかがりへ行くことに。はじめてのかりがどうなったのか、ぜひ読んでみてください。

ひいばあの家にママときていたトオル。だけど、ママは急な仕事で帰ってしまい、トオルは次の日ひとりで帰ることに。電車に乘ろうとしたら車しょにされてしまって…。無事に帰ることができるかな？



### 調べる学習百貨

『東海道五十三次  
江戸の世界を旅する』  
藤澤紫／監修 岩崎書店

五街道のひとつ、東海道を浮世絵で旅してみませんか？当時の旅事情がよくわかる1冊です。本の見返し（開いてすぐのページ）に描かれている全宿場図もぜひ見てね。

今いる環境が、自分に合っていないと感じた時、どうしたらいいと思いますか？この本を読むと、こういう選択もあるのかと、少し気持ちが楽になるかも。



### わくわくえどうわ 『発車オーライ！ 山の電車「いたずら号」』

いぶき彰吾／文 田中六太／絵  
文研出版



### 『キミの一歩 マレーシア 幸せじゃないなら、やめればいい』

野本響子／作 酒井以／絵  
あかね書房

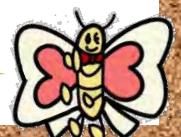
## イベント情報

くわしくは、館内ポスターや広報、ホームページをご覧ください。

11月 ぬいぐるみおとまり会（ぬいぐるみを持ってきていただくのは10月）

12月 クリスマスおはなし会スペシャル

みなさまのご参加おまちしております♪



# これからの木の図書館

連絡先

木の図書館

電話:04-7145-8000

## 年末年始の休館のお知らせ

流山市立図書館では、  
12月29日(月)から1月5日(月)の間は、  
休館となります。



## 郷土へのいざない vol. 45 ~旧水戸街道散歩 その10

根木内歴史公園をあとに柏方面に向かうと新宿坂を上り切ったあたりに「庚申塚」という名前のバス停があり、近くには青面金剛像と庚申塚があります。

「庚申塚」は「庚申塔」ともいわれ、中国から伝來した民間宗教で、長寿を願い庚申の日には寝ないでお祈りをするそうです。きっと元気に坂道を上り下りできるように祈願されたのでしょう。



「庚申塚」バス停と庚申塚



行念寺

そして坂を上ったところに「浄土宗 行念寺」があります。創建は室町後期の明応2年(1493年)3月、JR 常磐線北小金駅近くの東漸寺を開山した愚底運公上人の開基で、東漸寺の末寺です。

『寺号の「念佛を行する寺」として法然上人の念佛の教えを本尊阿弥陀如来のもと今日に守り伝えている。』と碑にかかれています。

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

は休館日

は17:00まで開館

木の図書館カレンダー

休館日 月曜日(祝日の場合は火曜日)

月末日(土・日・祝日を除く)

年末年始(12/29~1/5)

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

はおはなし会

はあかちゃんおはなし会

12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1		2	3	4	5
6						
7	8		9	10	11	12
14	15		16	17	18	19
21	22		23	24	25	26
28	29	30	31			

はイベント

開館時間 火曜日~土曜日

日曜日、祝日

:9時30分~19時

:9時30分~17時